

編集後記

コロナウィルスの流行で世の中が一気に変わってしまいました。JPGUや秋の惑星科学会はオンライン開催の方向ですし、ほとんどの高等教育機関では前期はオンライン授業になったのではないのでしょうか。私の所属する高専でもゴールデンウィーク明けからオンライン授業が本格的に開始される予定で、その準備でバタバタしています。ちなみに島根県は田舎なこともあり、3月中も小中高校は通常通り、4月も入学式の挙行・授業開始と頑張っていました。「出雲大社をはじめとする神様たちのおかげ」と皆で感謝していたのですが、4月に3日ばかり授業を行ったところでとうとう県内感染者が発生してしまい、学校は休校となってしまいました。この編集後記はゴールデンウィーク中に書いていますが、例年なら観光客があふれる松江の表通りには人の姿はありません。家では小学生の子供たちが外にいけずに腐ってお

り…。いつも通りの日常を送れることの有り難さを感じる今日この頃です。

コロナウィルス流行で社会活動が制約されていますが、著者のみなさん、編集委員のみなさん、印刷所のみなさんなど多数の方々のご尽力により、6月号を予定通りに発行できる運びとなったことを嬉しく思います。ありがとうございます。なお、毎年6月号には「学位論文紹介ページ」が掲載されますが、これは惑星科学関連分野において博士号もしくは修士号を取得された会員の論文タイトルを紹介するものです。過去3年に遡って掲載できますので、もし今回の掲載を逃してしまったという方がおられましたら来年度の6月号に是非掲載下さい。

それでは皆さんからの原稿を心よりお待ちしております。今後ともよろしく願いいたします。(杉山)